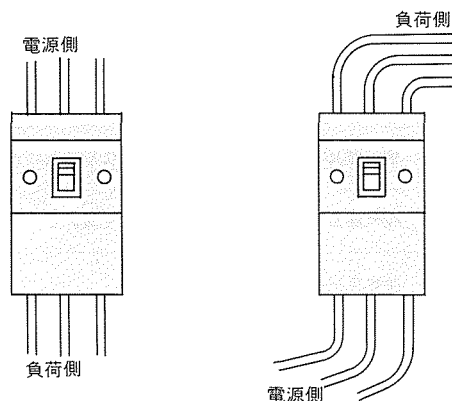


1. 接続について

● 逆 接 続

漏電遮断器は「電源側」と「負荷側」との区別があり器種により逆接続可能なものと、そうでないものがありますので注意して下さい。

逆接続不可の器種において逆接続をいたしますと、漏電遮断器が動作した場合、トリップコイルの焼損等事故につながります。

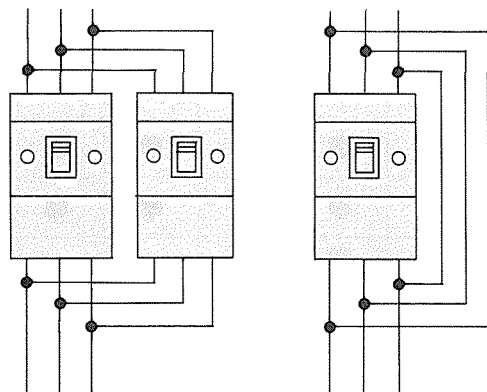


(正常接続)

(逆接続)

● 並列接続・バイパス接続

並列接続、バイパス接続は漏電遮断器が誤動作し、トリップコイルが焼損します。



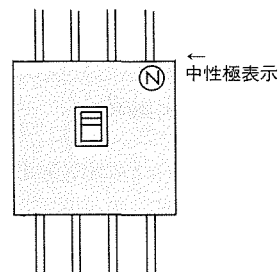
(並列接続)

(バイパス接続)

● 3 相 4 線式回路への接続

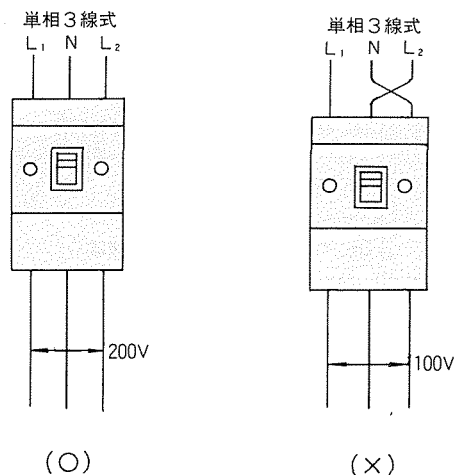
3相4線式漏電遮断器(4極シリーズ)を使用し、3相4線式回路へ適用する場合、必ず中性線を中性線接続極へ接続して下さい。

接続を誤りますと正常な動作を行いません。



● 単相3線式回路への接続

単相3線式回路へは単相3線式専用漏電遮断器はもとより3相3線式漏電遮断器でも適用できます。単相3線式回路での注意点は電圧線相互間の電圧と、中性線と電圧線間の電圧とが異なる点です。漏電検出装置の電源を遮断器内部において左右極から、とっておりますので適切な電圧(200V)がかかるよう接続しなければ、正常の動作は行ないません。ご注意下さい。



(○)

(×)